

◆令和2年度一般会計予算9月補正（第7号）の概要

◇主な内容

(単位・千円)

1 予算規模 (単位：千円)

補正前	補正額	補正後
46,973,167	1,175,141	48,148,308

2 繰越明許費の補正（追加2件）

- ・庁舎等整備事業費（議会中継システム再構築）
- ・漁港整備事業費（新荷捌所建築）

3 債務負担行為の補正（追加5件、廃止1件）

- ・宗像地区事務組合（消防）の地方債借入額確定に伴う本市負担分
- ・学校図書館システム構築委託費
- ・小学校学力テスト委託費
- ・中学校学力テスト委託費
- ・城山中学校整備事業費（発注方式の見直しに伴う計上）
（廃止）城山中学校整備事業委託料

【歳入】	
(1) 令和元年度決算を受けての繰越金の増額	904,419
(2) 普通交付税及び臨時財政対策債の確定による増額	
普通交付税の増額	310,382
臨時財政対策債の増額	25,400
(3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（2次交付）の増額	954,803
(4) 市税（固定資産税ほか）の減額	△ 79,500
(5) 財政調整基金繰入金の減額	△ 858,057
【歳出】	
(6) 新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援対策の増額（※詳細別紙）	515,688
(7) オンデマンドバス運行事業費（日の里地区）の増額	13,330
(8) 保育所施設整備費補助金の減額（増築1園減・分園2園増）	△ 6,780
(9) 国庫支出金等の過年度精算による返還金の増額	204,711
(10) 財政調整基金積立金の増額	478,091
(11) 不測の経費に備えた予備費の増額	50,000

4 歳入予算 (単位：千円)

款	項	補正前	補正額	補正後	備考
市税	固定資産税	3,977,183	△ 68,000	3,909,183	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における徴収猶予等に伴う減額 △ 68,000
	入湯税	30,000	△ 6,000	24,000	臨時休業に伴う減収見込 △ 6,000
地方交付税	地方交付税	6,848,679	310,382	7,159,061	普通交付税（6,560,382 前年度比+74,475） 310,382
国庫支出金	国庫補助金	11,733,142	884,447	12,617,589	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（1次・2次計 1,305,909） 954,803
					鐘崎漁港整備事業補助金 45,550
					河東中学校大規模改造事業 △ 75,649
県支出金	県補助金	925,147	84,524	1,009,671	保育事業費（保育所施設整備・保育環境改善等事業） 15,226
					漁港整備事業（鐘崎漁港整備事業） 15,487
寄附金	寄附金	1,000,000	5,000	1,005,000	一般寄附金の増額 5,000
繰入金	基金繰入金	2,110,217	△ 849,109	1,261,108	財政調整基金（-858,057）公共施設等維持更新基金（-91,052）企業立地促進基金（+100,000） △ 849,109
繰越金	繰越金	200,000	904,419	1,104,419	前年度繰越金 904,419
市債	市債	2,169,100	△ 114,100	2,055,000	河東中学校大規模改造事業 △ 174,100
					臨時財政対策債（1,044,400 前年度比-24,800） 25,400

5 歳出予算

(単位：千円)

款	項	補正前	補正額	補正後	備考	
総務費	総務管理費	14,351,774	851,370	15,203,144	オンデマンドバス運行事業費	13,330
					財政調整基金積立金	478,091
					庁舎等整備事業費（議会中継システム再構築業務等）	47,016
					SDGs 未来都市計画推進事業費	2,170
					ネットワーク管理運営費（テレワーク、WEB会議環境整備等）	181,945
民生費	児童福祉費	6,325,010	145,389	6,470,399	子ども相談事業費（感染防止に配慮した相談支援体制強化）	1,217
					教育・保育施設型給付事業費（保育所施設整備補助金・保育環境改善等事業補助金）	121,965
衛生費	保健衛生費	923,571	68,968	992,539	保健一般事務費（感染症対策に係る消毒薬購入等）	8,690
					宗像地区事務組合負担金（急患センター）	55,986
農林水産業費	水産業費	325,603	80,850	406,453	漁港整備事業費（鐘崎漁港整備事業）	78,100
商工費	商工費	1,447,490	241,794	1,689,284	緊急経済支援事業費（ウイズコロナ対応支援補助金 100,000）	72,500
					企業誘致・企業連携事業費（企業立地促進補助金）	100,000
土木費	都市計画費	1,166,714	△ 20,842	1,145,872	下水道事業会計負担金	△ 20,842
教育費	教育総務費	2,192,020	22,030	2,214,050	市立学校感染症対策事業費（消毒委託料等）	17,212
	中学校費	622,954	△ 360,342	262,612	中学校施設改修事業費（河東中学校大規模改造事業）	△ 314,032
	予備費	100,000	50,000	150,000	城山中学校整備事業費（発注方式の見直しに伴う減額）	△ 46,310
					不測の経費に備えるための増額	50,000

宗像市の新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援対策（第6弾）について

（令和2年9月議会での一般会計予算 追加補正第7号）

感染症にも経済危機にも強い、強靱かつ自律的な地域の社会経済の構築を目指す

地域未来
構想20

A) 社会的な環境整備

- ① 3密対策 ② 発熱外来
- ③ キャッシュレス ④ 行政IT化
- ⑤ 防災IT化 ⑥ 脱炭素社会への移行
- ⑦ スーパーシティ
- ⑧ 地域経済の可視化

B) 新たな暮らしの スタイルの確立

- ⑨ 教育 ⑩ 医療 ⑪ 地域交通体系
- ⑫ 文化芸術・スポーツ・
コンテンツビジネス
- ⑬ リビングシフト ⑭ ハートフル

C) 新たな付加価値を生み出 す消費・投資の促進

- ⑮ 強い農林水産 ⑯ 地域商社、観光
地域づくり法人（DMO）
- ⑰ 物流の進化 ⑱ 新たな旅行
- ⑲ 商品券・旅行券 ⑳ 事業構造改革

補正予算総額（コロナ関連）

約 515,688 千円

① 行政サービス・事務のIT化推進〔Aの柱〕

補正額
294,494千円

◆ リモートワークの推進

WEB会議環境整備 / リモートワーク環境整備 / 庁内無線LAN環境整備 / 公衆無線LAN改修 / 感染防止に配慮した相談支援体制強化（DV・虐待） / 事務組合テレワーク導入経費に係る負担金（消防・総務・議会）

◆ ICTを利用した業務効率化、サービス提供体制向上

児童手当電子申請にかかるシステム利用料 / 基幹系システムに係るペーパーレス化の推進 / 人事評価システム及び入退庁システム導入 / 公共ファシリティマネジメントシステム導入 / 本人確認業務サポートシステム導入 / 水位監視カメラ設置 / 議会中継システム更新

② 市内事業者への追加経済支援〔Cの柱〕

補正額

100,000千円

〔既存予算の減額〕
△ 35,000千円

「宗像市ウィズコロナ対応支援補助金」の新設
「新たな生活様式」への対応や、新しいビジネス展開を行う中小事業者に上限20万円（500事業者）を補助

③ 公共施設のコロナ対策経費等〔Aの柱〕

補正額

154,024千円

- ・ 公共施設の感染症拡大防止対策の強化
- ・ 指定管理者への感染症対策支援（指定管理料の増額）

④ SDGs ビジネス創出推進事業〔Bの柱〕

補正額

2,170千円

「F a b b i t 宗像」の利用を促進し、宗像発の持続可能なまちづくりを促進

行政サービス・事務のIT化推進

昨今、少子高齢化の進展が特に顕著となっており、本市においても、多様な人材が活躍できる環境の整備や、業務効率化を進めていくことが大きな課題であり、働き方改革や行財政改革の取組みを現に進めている。今回の新型コロナウイルス感染症の発生を契機に、本市においても「デジタル・ガバメント」の構築を目指し、ICTの取組みをさらに加速するべく、積極的に推進していく。

取組分野	R 2 年度取組み（9月補正）*主なもの	
1 行政サービスの充実と地域社会・経済の活性化	オンライン化の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てワンストップ電子申請（児童手当）【156千円】 ・リモートによる相談支援体制整備【1,148千円】 ・確定申告システム等導入【1,158千円】 ・議会中継システム更新【47,006千円】 ・公衆無線LAN改修【640千円】
	オープンデータ推進	<ul style="list-style-type: none"> ・水位監視カメラ設置【5,841千円】
2 行政事務の効率化	環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所リモートワーク環境整備【41,332千円】 ・事務組合リモートワーク環境整備【953千円】 ・庁内無線LAN環境整備【114,472千円】 ・WEB会議室環境整備（103会議室、第2委員会室）【4,827千円】
	個別システム、機器	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット活用による窓口手続きの電子化【817千円】 ・タブレット等活用による会議資料の電子化（議会、庁議等）【12,883千円】 ・基幹系システムに係るペーパーレス化【11,047千円】 ・人事評価システム及び入退庁システム導入【8,117千円】 ・本人確認業務サポートシステム導入【186千円】 ・公共施設ファシリティマネジメントシステム導入【5,940千円】
3 業務継続と情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所リモートワーク環境整備（再） ・事務組合リモートワーク環境整備（再） ・庁内無線LAN環境整備（再） ・WEB会議室環境整備（再） ・タブレット活用による会議資料の電子化（議会、庁議等）（再） 	
4 国の施策に適合した事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てワンストップ電子申請（児童手当）（再） 	

(2) 市内事業者への追加経済支援

〈名称〉 宗像市ウィズコロナ対応支援補助金

〈目的・概要〉 社会構造や経済構造が大きく変化するウィズコロナ時代において、市内経済の持続・発展を図るため、市内中小事業者による「新たな生活様式」への対応や新しいビジネス展開など、ウィズコロナへの対応を支援するもの

〈対象者〉 新型コロナウイルスの影響により売上げが15%以上減少した、市内に事業所又は店舗を有する中小事業者（対象業種問わず）

※個人事業者については、市内居住者に限る ※その他、一部対象外業種等あり

〈対象事業〉 【1】 感染拡大予防のための保健衛生に取り組む事業

- ・ 備品購入費（紫外線消毒器やWEB会議資機材等）、工事費（パーティション・仕切板設置、換気設備新設等）※マスク、消毒等の消耗品や保健衛生対策と認められない工事は対象外

【2】 新しい生活様式に対応した業務に取り組む事業

- ・ デリバリー、キャッシュレス決済等の新たな商品提供方式を導入するための経費等
※使い捨て容器等の消耗品、リース料、人件費等は対象外

【3】 ウィズコロナ時代の新たなビジネス展開に取り組む事業

- ・ ECサイト等の非対面販売、オンライン商談等の非対面商談等の導入経費等

〈補助金額〉 一事業者 上限20万円（1回限り）※500事業者

(3) 公共施設のコロナ対策経費等

〈対象経費〉 【1】 市内公共施設の感染症対策経費【103,143千円】

【2】 コロナ対策による指定管理料の増額経費 【50,881千円】

- 「宗像市SDGs未来都市計画」に位置付ける「創業拠点施設における官民連携による創業支援」を推進
- 地域課題をビジネスの手法で解決することで、宗像市の持続可能なまちづくりを推進

① 「Fabbit宗像ビジネス創出ネットワーク（仮称）」の立ち上げ

宗像市、Fabbit、地元サポーター、市内外の企業・団体などで構成されるネットワークの立ち上げ

② 「ビジネスイベント」のオンライン開催

「Fabbit宗像ビジネス創出ネットワーク（仮称）」が主催する、ビジネスイベントをオンライン開催
*むなビズとの共同開催等も想定



③ 「Fabbit宗像」トライアル利用環境整備

トライアルで利用を希望する企業や個人などに対し、一定期間利用してもらう区画を確保

「Fabbit宗像」の利用を促進することで多様な人材が宗像に集い、**宗像発のイノベーションを起こす。**